

東京23区 各区の一般廃棄物処理基本計画から「ごみ減量目標」を抜粋(2014年6月現在)

区 名	一般廃棄物処理基本計画	ごみ減量目標
千代田	第3次千代田区一般廃棄物処理基本計画 ～環境モデル都市千代田 資源循環型社会の構築に向けて～ (平成23年度～平成32年度) 平成23年3月	区内で発生する一般廃棄物を対象(事業系含む) 【平成27年度】ごみ排出量:約74,000t (平成21年度92,000tの約2割を削減) 【平成32年度】ごみ排出量:約63,000t (平成21年度92,000tの約3割を削減)
中 央	中央区一般廃棄物処理基本計画 平成23年3月 (平成23年度～平成32年度)	平成32年度の減量目標 家庭ごみの排出量の原単位(1人1日当たり) 平成21年度比で約102g(約27%)削減 事業家ごみの排出量(区収集ごみ・持込みごみ) 平成32年度までに平成21年度比で約24%削減
港	港区一般廃棄物処理基本計画(第2次) (みなとクリーンプラン21(第2次)) 平成24年(2012年)3月 (平成24年度～平成33年度)	総排出量を平成28年度までに168,000t以下、 平成33年度までに160,000t以下にすることを目指します。 区民 平成33年度における取組のめやす(平成22年度比) 区民は、1人1日あたり110グラムのごみを減らします
新 宿	新宿区一般廃棄物処理基本計画(平成25年度改定版) - 資源循環型社会の構築を目指して - ごみ半減、リサイクル倍増にチャレンジ 平成25年2月 (平成20年度～平成29年度)	平成29年度までに区収集ごみ量の対17年度比50%減
文 京	文京区一般廃棄物処理基本計画 (平成23年度～平成32年度) 【モノ・プラン文京】モノ配慮社会の実現～モノの価値を 最大限に効率的に活用するリサイクル清掃事業～ 平成23年3月	ごみ量 平成32年度に平成21年度比で約20%削減 (平成32年度目標ごみ量 57,592t/年)
台 東	台東区一般廃棄物処理基本計画 「みんなでつくる循環型社会の実現 ～たいとうごみゼロ協働プラン～」 平成23年3月 (平成23年度～平成32年度)	平成32年度(最終年度)に向けて 区民1人1日当たりの区収集ごみ量 30%削減 平成21年度(基準年度)比
墨 田	墨田区一般廃棄物処理基本計画 ～ごみ出すな ごみを増やすな もったいない～ 平成23年4月 (平成23年度～平成32年度)	1人1日あたりのごみ排出量 平成27年度までに560g以下 平成32年度までに520g以下
江 東	江東区一般廃棄物処理基本計画 ～もったいない、限られた資源をたいせつに～ 平成24年3月 (平成24年度～33年度)	【ごみ減量のための目標値】 ○区民1人あたり1日の区収集ごみ量(g/人日) 平成22年度 567g → 平成33年度 531g ○大規模建築物事業者の再利用率 平成22年度 68.2% → 平成33年度 71.2%
品 川	品川区一般廃棄物処理基本計画(第3次) ～「循環型都市しながわ」の実現～ 平成25年3月 (平成25年度～平成34年度)	区民1人1日あたりの収集ごみ量を、平成23年度の567(g/人・日)から、 平成29年度に495(g/人・日)、平成34年度に440(g/人・日)とする。
目 黒	目黒区一般廃棄物処理基本計画 ～快適で誇りのもてる循環型のまちめぐり～ 平成19年3月 (平成19年度～平成28年度)	平成28年度目標 ごみ量(=区収集ごみ量+持込ごみ量) ごみ量を平成17年度比で35%削減する。
大 田	ごみをつくらないまち・おおたスマートプラン 大田区一般廃棄物処理基本計画(23年度改定版) 平成23年3月 (平成18年度～平成32年度)	平成12年度比で計画最終年度である平成30年度に 区収集ごみ量30%減、リサイクル率30%の目標を設定します。 また、持込ごみを平成30年度に20%減(平成20年度比)
世田谷	世田谷区一般廃棄物処理基本計画 —環境に配慮した持続可能な社会を目指して— 平成22年～26年度 平成22年3月	区民1人1日あたりのごみ排出量 (区で収集した可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみの量) 平成20年度実績値 621グラム 平成26年度目標値 540グラム(平成15年度から24%減少)

東京23区 各区の一般廃棄物処理基本計画から「ごみ減量目標」を抜粋(2014年6月現在)

区 名	一般廃棄物処理基本計画	ごみ減量目標
渋谷	渋谷区一般廃棄物処理基本計画 創意あふれる生活文化都市 渋谷 - 自然と文化とやすらぎのまち - 平成23年3月 (平成23年度～平成32年度)	平成27年度10.8万t(平成21年度比-12%) 平成32年度9.2万t(平成21年度比-25%) (。持込ごみに排出された生ごみは、食品リサイクル法による資源化の徹底などにより、平成32年度には20%の減量をめざします。)
中野	第2次中野区一般廃棄物処理基本計画 —なかの ごみゼロプラン 06— [平成18(2006)年度～平成27(2015)年度] 平成18(2006)年2月	平成27(2015)年度には、区民1人1日あたりのごみ排出量を平成16(2004)年度のほぼ半分の371gに減量することを目指します。
杉並	杉並区一般廃棄物処理基本計画 (平成25年度～33年度) 平成25年7月	区収集ごみ量(g/人日) 平成22年度(基準年度)548g、平成26年度(短期目標年度)510g、 平成29年度(中期目標年度)490g、平成33年度(最終目標年度)460g
豊島	第三次豊島区一般廃棄物処理基本計画 - 3Rの輪が広がる循環のまち - (2014年～2028年) 平成26年3月	区で収集するごみ 1人1日当たりのごみ量 平成18年度 787g/人日→平成40年度436g/人日
北	東京都北区一般廃棄物処理基本計画 エコプラン2018 ～ごみゼロのまちづくり～ 平成21年3月 (平成21年度～平成30年度)	ごみ排出量 20% 削減 (平成19年度比) (資源を除く)95千t → 76千t (H19実績)→ (H30)
荒川	荒川区一般廃棄物処理基本計画 (平成24年度～平成33年度) ～コミュニティのつながりを生かした荒川区らしい 循環型地域社会づくりを目指して～ 平成24年3月	平成33年度までに、ごみと資源の総排出量を10%削減します。 (平成22年度:71,015t → 平成33年度:64,140t) 平成33年度までに、総ごみ量を区民1人1日当たり200g 削減します。(平成22年度比で25%削減)
板橋	板橋区一般廃棄物処理基本計画(第三次) 平成24年3月 (平成24年度～平成33年度)	総排出量の削減率・ごみ減量率の数値目標 中間目標(平成27年度) 平成16年度比で総排出量の削減率17.1%、ごみ減量率23.9% 最終目標(平成33年度) 平成16年度比で総排出量の削減率23.8%、ごみ減量率32.6%
練馬	減らそうごみ つなげよう未来へ 循環型社会をめざして (練馬区第3次一般廃棄物処理基本計画) 平成23年(2011年)3月 (平成23年度～平成32年度)	収集ごみ量 = 収集可燃ごみ + 収集不燃ごみ + 収集粗大ごみ 平成32年度の区民1人1日あたり 収集ごみ量は470g/人日、発生量は668g/人日をめざします。 持込ごみ量は25,919tをめざします。
足立	第三次足立区一般廃棄物処理基本計画 (平成26年度～平成35年度) 『未来にも 限りある資源 つなげよう』 2014(平成26)年3月 (平成26年度～平成35年度)	収集ごみ量は470g/人日をめざします。 平成21年度の551g/人日→平成32年度470g/人日 持込ごみ量は25,919tをめざします。
葛飾	葛飾区一般廃棄物処理基本計画(第3次) 平成23年4月 (平成23年度～平成32年度)	区民1人日当たりの家庭ごみ量(平成21年度比約20%減量) 平成21年度(現状値)570g→平成32年度(目標値)450g 事業系ごみの年間排出量(平成21年度比約20%減量) 平成21年度(現状値)26,700t→平成32年度(目標値)21,000t
江戸川	Edogawaごみダイエットプラン 20%減量をめざして 江戸川区一般廃棄物処理基本計画 (平成23年度～平成33年度) 平成23年3月	区のごみ量 = 燃やすごみ + 燃やさないごみ + 粗大ごみ + 持込みごみ 平成33年度に平成12年度比でごみ量の20%削減をめざします。 (目標達成後のごみ量165,400t) 平成33年度に区民一人当たりのごみ量649g

清掃事業の特別区移管が2000年4月なので、各区の「一般廃棄物処理基本計画」も概ね第三次の改定版となっている。前回の改定に比べて、ごみ減量目標も、事業系ごみ含む数値目標を掲げている区も多く、それぞれの区の特徴が現れている。ごみ総排出量や、資源化率など、各種の数値目標を明示している区も多いが、「ごみ減量」の数値目標のみ抜粋した。これまでの取組への評価、今後の施策等の詳細は、各区の一般廃棄物処理基本計画を参照下さい。